

ペリネイタルケア

選 択

開講年次：4年次前期

科目区分：講 義

単 位：1 単位

講義時間：15 時間

■**科目のねらい**：周産期にある対象、妊・産・褥婦、胎児、新生児を中心に、低出生体重児や早産児も含めて、その特徴やケアについて学修する。また、家族支援、育児支援、保健センター等の地域の社会資源についても学ぶ。

- 到達目標**：①胎児期の成長発達と母体の健康管理について理解する。
②周産期にみられる母体の異常や胎児・新生児の異常と看護について理解する。
③低出生体重児や早産児の特徴と正常な成長発達を促すために必要な援助について理解する。
④家族支援、育児支援、周産期医療システムおよび母子保健活動について理解する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎三上 智子・渡邊 由加利・田仲 里江

■**授業計画・内容**：

- 第1回 周産期医療の対象となる人々と周産期医療システム
第2回 妊娠経過に伴う胎児の発育と母体の健康管理
第3回 分娩・胎児・新生児の異常とケア
第4回 低出生体重児・早産児のケア
第5回 母子保健活動（地域と病院との連携・ベビーマッサージ）
第6回 育児支援（家庭訪問・育児サークル等）
第7回 家族支援（母乳育児の支援）
第8回（0.5時間）周産期に活用できる社会資源

■**教科書**：講義時に適宜資料配布

■**参考文献**：新生児学入門 第4版 仁志田博司（医学書院）
母子保健マニュアル第7版 高野陽ら（南山堂）
障害を持つ子を産むということ 19人の体験 野辺明子（中央法規）
赤ちゃんに先天異常が見つかった女性への看護 山中美智子（メディカ出版）
DOHaDその基礎と臨床 第1版 板橋家頭夫ら（金原出版）

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標				評価基準	評価割合 (%)
	到達目標 ①	到達目標 ②	到達目標 ③	到達目標 ④		
レポート	◎	◎	◎	◎	課題に沿ったレポートとしての構成と内容	60
授業態度 ミニッツペーパー	○	○	○	○	積極的な姿勢	40
出席					2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：人間発達援助論、母性看護学概論、母性看護学援助論、母性看護技術論、母性看護学臨地実習、小児看護学概論、小児看護学援助論、小児看護技術論、小児看護学臨地実習、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学援助論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生看護技術論、公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱ

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：妊娠から出産後まで、また胎児期から生後1～2か月頃までの限定された時期における医療と看護、地域の母子保健活動、家族支援等について学びます。生命の始まりの時点で、さまざまな医療従事者が周産期にある対象をどのようにサポートしているのかを理解し、一緒に考えていきましょう。